

平成26年度予算(案)パブリックコメント募集事業一覧表

(単位:万円)

政策	取組の基本方針	事業名	所管課	H25予算	H26要求	増減
1 自然・環境	2 循環型社会の形成	分別・資源化等啓発事業	減量推進課	378.3	339.1	39.2
2 産業	1 都市型農業の推進	「食」と「農」の豊かさ発見実践事業	農業振興課	176.4	179.2	2.8
	3 観光による産業の振興	地域発見魅力発信事業	商工労働課	174.1	434.1	260.0
3 福祉・保健・医療	2 健康づくりの推進と地域医療の安定	成人検診推進事業(健康診査経費)	保健センター	227.7	529.7	302.0
4 安全・安心	1 安全な暮らしの確保	やすらぎ苑整備事業	市民生活課	450.0	3,370.4	2,920.4
	2 地域防災力の向上	地域防災力向上支援事業	参事(危機対策・防災担当)	298.7	826.0	527.3
5 都市基盤	1 市街地整備の推進	大麻地区住環境活性化事業	企画課	343.1	447.7	104.6
	2 交通環境の充実	公共交通利用促進対策事業	企画課	265.3	440.5	175.2
6 子育て・教育	1 子育て環境の充実	あそびのひろば事業	保育課	259.4	290.9	31.5
	2 子ども教育の充実	小中学校学習サポート事業	学校教育課	819.7	931.7	112.0
7 生涯学習・文化	1 生涯学習の充実	(仮称)えべつ市民カレッジ(四大学連携生涯学習講座)事業	生涯学習課	21.4	23.2	1.8
8 協働	1 協働のまちづくりの推進	大学版「人材バンク」事業	企画課		10.8	10.8
9 計画推進	2 透明性と情報発信力の高い市政の推進	ウェルカム江別事業	広報広聴課	121.5	356.9	235.4
	3 男女共同参画による市政運営の推進	働きたい女性のための就職支援事業	政策調整課		95.0	95.0

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	01	自然・環境
取組の基本方針	02	循環型社会の形成

事業名	分別・資源化等啓発事業
担当課	生活環境部環境室減量推進課リサイクル係

目的と事業概要	ごみと資源物の排出ルール、及び減量化・資源化の必要性について理解してもらい、市民の減量化・資源化の意識を高め、分別の徹底と適正な排出を図ることを目的に、イベント出展、市民講習会開催、啓発用広報物の作成・配布を行う。
前年度までの実施内容と効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種イベントでの分別回収等PR(環境広場、消費者フェア等) 2. 市民講習会(出前講座)の開催 3. 「分別の手引き」及び「収集日カレンダー」並びにその他広報物の作成及び全世帯への配布(「分別の手引き」及び「収集日カレンダー」に有料広告を掲載して経費を節減) 4. 家電量販店(市内2か所)で使用済小型家電の拠点回収(平成24年度開始)
H26年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 上記の取組みに加え、以下の取組みを実施することについて</p> <p>古布・衣類、使用済小型家電の公共施設での拠点回収を実施 ・古布・衣類の公共施設での拠点回収を新たに実施する。 ・使用済小型家電の回収拠点を拡大し、新たに公共施設で拠点回収を行う。</p> <p>< 拠点回収実施予定施設(4か所) > 市役所本庁舎、市役所大麻出張所、水道庁舎、豊幌地区センター 新たに回収を行う予定施設の選定にあたっては、地区及び民間事業者による回収拠点の有無を考慮した。</p> <p>< 古布・衣類、使用済小型家電の回収見込量 > 古布・衣類 20.0t/年、使用済小型家電 32.3t/年</p>

(単位:万円)

予算状況		H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
	講師謝礼・イベント参加者景品	5.4	5.4	5.4			
	収集日カレンダー、啓発広報物作成	128.9	267.1	183.6	83.5		
	広報物全戸配布等経費	100.0	105.8	117.7	11.9		
	小型家電及び古布回収ボックス購入費			32.4	32.4		
計		234.3	378.3	339.1	39.2		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他	25.2	51.0	47.6	3.4		
	一般財源	209.1	327.3	291.5	35.8		
主な増減理由(前年比)		「分別の手引き」の作成費用の減。(隔年発行:平成25年度発行、次回平成27年度予定) ・小型家電及び古布回収ボックス購入費用の増。					

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	02	産業
取組の基本方針	01	都市型農業の推進

事業名	「食」と「農」の豊かさ発見実践事業
担当課	経済部農業振興課

目的と事業概要	「食」に関する知識や「食」を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することができる人間を育てる「食育」を推進するため、小・中学生や高齢者を対象とした各種体験学習を実施するほか、小学校の給食への地場産農産物導入を支援する。また、JA道央青年部が小学生を対象に実施する農業体験学習事業(グリーンスクール)への支援を行う。
前年度までの実施内容と効果	<ol style="list-style-type: none"> 各種体験学習 小学生を対象とした田植え・稲刈り体験学習、小麦追跡学習、野菜の学習、酪農体験を、それぞれ1～数校(平成24年度:666名、平成25年度:735名)合計で700～800名程度)で実施。 学校給食への地場産農産物導入 年に1回、地場産牛乳を提供(平成24年度:小学5年生・中学3年生全員、平成25年度:市内小学4・5年生全員)。 グリーンスクールへの支援 小学生を対象に年5回にわたり実施される農業体験学習への事業補助(平成24年度:1校31名、平成25年度:1校54名)。 おうちごはんモデル校事業 お米を作るところから食べるところまでを体験することで、児童の地元食材への理解や興味を促すとともに、ごはんに合うおかずを考案することで、家庭での食育に寄与した(平成24年度:小学校1校64名)。 第2次食育推進計画 平成26年度から計画期間が開始する第2次食育推進計画を策定する(平成25年度)。
H26年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 上記の各種体験学習、学校給食への地場産農産物導入、グリーンスクールへの支援に加え、以下の取組みを実施することについて</p> <p>中学生を対象として、自ら地場農畜産物及び加工品を使用したメニューを考案し、食材の購入、調理までを行うことで、食材の選び方や地域経済について学ぶことができる、より生活に密着した実践的な食育事業を実施する。 (夏季休業期間中、20～30名程度による体験学習を想定)</p> <p>高齢者を対象として、足を運ぶ機会の少ない市内農村地域で収穫体験や生産者との交流を通じ、当市の農業や地場農畜産物への理解を深め、「食」に関する知識の習得に資する食育事業を実施する。 (蒼樹大学・聚楽学園における講座として実施することを想定)</p>

(単位:万円)

予算状況		H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
財源内訳	[積算内訳]						
	・小学生向け体験	54.4	120.6	111.8	8.8		
	・中学生向け体験			41.1	41.1		
	・高齢者向け体験			9.7	9.7		
	・おうちごはんモデル校事業(H24)	18.3					
	・食育推進計画更新(H25)		39.1		39.1		
	・地場産農産物導入支援	16.3	16.0	15.2	0.8		
	・その他	0.2	0.7	1.4	0.7		
	計	89.2	176.4	179.2	2.8		
	国・道支出金						
市債							
その他	8.0	17.9	7.4	10.5			
一般財源	81.2	158.5	171.8	13.3			
主な増減理由(前年比)							
増加理由:中学生対象の事業に要する経費の増 蒼樹大学・聚楽学園の学生を対象とする事業に要する経費の増							
減少理由:第2次食育推進計画策定に要する経費の減							

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	02	産業
取組の基本方針	03	観光による産業の振興

事業名	地域発見魅力発信事業
担当課	経済部商工労働課

目的と事業概要	札幌市の子育て世代や札幌市に滞在する観光客に、江別の魅力や日帰り観光情報を提供し、江別市の知名度向上や観光客の市内への入込数を増やす。観光ルートを複数提案するルートマップ作成や江別PR広告と連動したバスツアーの実施、江別PR映像の作成などを行う。
前年度までの実施内容と効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. えべつルートマップ作成事業 札幌市の子育て世代をターゲットとして観光ルートを複数提案するマップ(冊子)を作成し、札幌市内の幼稚園・保育園に配布。(平成24年度クーポン利用221枚) 2. 健康ウォーキングマップ作成事業 市内のJR駅から徒歩で回れる観光ルートマップ(観光施設やトイレの場所などを掲載したA3両面1枚)を作成。平成25年度は江別駅を起点としたルートマップを作成し市内JR各駅、各公民館、体育館、さっぽろ観光案内所等で配布。 3. えべつプロモーション広告掲載事業 札幌圏の方々を対象に、地域情報誌に広告を掲載するとともに、広告と連動したバスツアーを開催。(平成25年度はバスツアー2回実施 参加者計83名) 4. 農商連携 市外居住子育て世代向けスタンプラリー事業 親子で楽しめる市内の観光・ショッピングスポットを対象としたスタンプラリーを実施。
H26年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 取組み内容の見直し・拡充をすることについて</p> <p><見直し> えべつルートマップ作成事業 ルートマップ内容の刷新を行うとともに、スタンプラリーを冊子に盛り込む。(農商連携事業との統合)</p> <p><拡充> えべつプロモーション広告掲載事業 地域情報誌に加え、子育て世代をターゲットにした専門情報誌に江別特集を新たに掲載する。 江別PR映像制作事業 江別をPRする動画映像を制作し、江別市内外のイベント時や、市内の銀行・病院・その他公共施設等で放映し、効果的に江別をPRする。</p>

(単位:万円)

予算状況		H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
財源内訳	【積算内訳】						
	ルートマップ作成	119.7	78.8	178.1	99.3		
	プロモーション広告掲載	49.9	49.9	163.7	113.8		
	PR映像製作			21.6	21.6		
	ウォーキングマップ作成		15.8	28.1	12.3		
	その他経費	1.7	29.6	42.6	13.0		
	計	171.3	174.1	434.1	260.0		
	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源	171.3	174.1	434.1	260.0		
主な増減理由(前年比)							
えべつルートマップ作成部数増(12,500部→20,000部) えべつプロモーション広告掲載事業拡充による増 江別PR映像制作による増 江別ブランド推進事業からの移管による増(その他経費のH24決算額、H25予算額は、江別ブランド推進事業から当事業に移管した取り組み(江別産小麦PRグッズ製作等)に係る経費を記載)							

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	03	福祉・保健・医療
取組の基本方針	02	健康づくりの推進と地域医療の安定

事業名	成人検診推進事業(健康診査経費)
担当課	健康福祉部保健センター

目的と事業概要	<p>疾病の予防、早期発見及び早期治療に結びつけることを目的として、各種検診を実施する。 特定健診の対象とならない20歳以上39歳以下の健診機会のない市民に生活習慣病予防健診を実施することにより、早い時期から生活習慣病予防を意識付けし、早期発見・早期治療に結びつけることを目的とする。</p> <p>なお、20歳以上の女性が対象となる子宮がん検診と同時に実施することで、がん検診の受診率向上を目指すとともに、子育て世代の健康の保持・増進を支援する。</p>
前年度までの実施内容と効果	<p><各種検診の実施></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周疾患検診 2. 骨粗しょう症検診 3. 肝炎ウイルス検診 4. 特定健診対象外の方の健康診査
H26年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 上記取組みに加え、以下の取組みを実施することについて</p> <p>健診機会のない20歳以上39歳以下の市民に対する生活習慣病予防健診を実施する。</p> <p>健診内容:問診、身体測定、尿検査、血圧測定、血液検査(脂質、血糖、肝機能、尿酸、貧血、腎機能) 保健指導:健診結果により、必要な方には保健指導を実施 実施方法: 集団健診・・・保健センターを会場に市がん検診時にあわせて実施 (北海道対がん協会・札幌複十字総合健診センターへ委託) 個別健診・・・市内医療機関で実施予定 健診費用:自己負担600円(個別)又は400円(集団)予定 周知方法:広報、ホームページ、自治会回覧、乳幼児健診時に案内 その他:集団健診受診時は、託児を用意し、安心して健診を受けられるよう配慮</p>

(単位:万円)

予算状況		H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
	肝炎ウイルス検診	93.8	109.7	104.0	5.7		
	骨粗しょう症検診	15.1	20.1	22.7	2.6		
	歯周疾患検診	67.8	86.4	93.3	6.9		
	20～39歳の生活習慣病検診			301.3	301.3		
	その他	16.3	11.5	8.4	3.1		
	計	193.0	227.7	529.7	302.0		
財源内訳	国・道支出金	77.0	133.4	201.9	68.5		
	市債						
	その他						
	一般財源	116.0	94.3	327.8	233.5		
主な増減理由(前年比)							
20～39歳の生活習慣病予防健診の実施に係る質問票・結果通知票・周知チラシの作成経費、事後指導案内通知の郵送料及び実施機関への健診委託料の増							

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	04	安全・安心
取組の基本方針	01	安全な暮らしの確保

事業名	やすらぎ苑整備事業
担当課	生活環境部市民生活課

目的と事業概要	合葬墓新設 少子高齢化の進行等により、お墓に対する市民ニーズが多様化してきていることから、承継者を必要としない合葬(合同)式の墓をやすらぎ苑内に新設する。 やすらぎ苑内の環境整備 周囲環境に配慮した樹木の植栽等の環境整備を継続して実施し、利用者が安心して墓参が出来るよう墓地の適正な管理を図る。
前年度までの実施内容と効果	景観に配慮した植樹、雨水滞留防止対策のための環境整備、墓所安定供給を目的とした各種整備を実施 <平成24年度> ニオイヒバ新植(景観に配慮しニオイヒバ20本植樹) 雨水調整池管渠及び流路浚渫(雨水流路の清掃 延長92m) <平成25年度> 遊休未利用地の墓所造成(3㎡墓所128区画) 苑内樹木の枝払い及び剪定 アスファルト舗装改修(延長 74.8m)
H26年度の実施内容	【意見募集にあたっての論点】 以下の新規取組みを実施することについて 核家族化や少子高齢化の影響などから、今後、承継者のいない墓所(無縁墳墓)の増加が懸念されていること、また、葬送に対する多様な市民ニーズに対応するため、承継者を必要としない合葬墓を新たに整備する。 場所：やすらぎ苑敷地内(屋外) 規模：約3,000体

(単位:万円)

予算状況	H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
・ 合葬墓新設工事費用			2,368.5	2,368.5		
・ 地質調査・実施設計委託費(合葬墓)			559.5	559.5		
・ 現況測量委託費(合葬墓)			125.3	125.3		
・ 苑内墓所造成費用		320.0		320.0		
・ 樹木等環境整備費用	160.9	130.0	105.3	24.7		
・ 墓地管理システム導入費用			211.8	211.8		
計	160.9	450.0	3,370.4	2,920.4		
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他	160.9	450.0	2,891.0	2,441.0		
一般財源			479.4	479.4		
主な増減理由(前年比)	・ 合葬墓新設による増					

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	04	安全・安心
取組の基本方針	02	地域防災力の向上

事業名	地域防災力向上支援事業
担当課	総務部総務課(危機対策・防災)

目的と事業概要	<p>市民の防災意識啓発・訓練支援による「自助・共助」の強化を図り、地域防災力を向上させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 防災・災害対応に関連する各種訓練・防災セミナー・出前講座等の実施 2. 災害時要援護者避難支援制度の推進 3. 防災啓発資料の作成
前年度までの実施内容と効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防災訓練・防災セミナー等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・長期計画に基づき市内各地域で訓練を実施(災害図上訓練・避難所運営訓練等) ・H25年度は豊幌地区水害想定避難訓練・見晴台自治会との宿泊型避難所運営訓練・大麻地区での避難所運営訓練等を実施(セミナー等を含め約11,000名が参加) 2. 災害時要援護者避難支援制度の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会・民生委員の協力により制度周知と取組拡大を実施(約1,300名が登録済) 3. 防災啓発資料の作成・配付 <ul style="list-style-type: none"> ・防災あんしんマップの作成(1,800部)
H26年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 上記の取組に加え、以下の取組を実施することについて</p> <p>「自主防災組織」の再構築 ・阪神淡路大震災を契機に重視された「自主防災組織」に関し、協議会立ち上げや支援制度創設等により、地域「共助力」強化を図る。</p> <p>「災害時要援護者避難支援制度」の充実・促進 ・災害対策基本法改正を踏まえ、災害時要援護者情報を迅速に集約する必要性から、市基幹システムに連動した「災害時要援護者システム」を新たに構築する。また、制度の周知・登録促進に向けた啓発に取り組む。</p> <p>「防災意識」の啓発支援 ・従来からの幅広い市民層に向けた啓発活動に加え、子育て世代を含めた防災教育の推進や市内事業所等を対象に重点的に意識啓発を図る。</p>

(単位:万円)

予算状況		H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】							
	自主防災組織の再構築			21.3	21.3		
	災害時要援護者避難支援制度の充実	2.8	2.8	405.7	402.9		
	防災意識の啓発支援	142.1	293.1	356.3	63.2		
	その他	2.8	2.8	42.7	39.9		
計		147.7	298.7	826.0	527.3		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他						
	一般財源	147.7	298.7	826.0	527.3		
主な増減理由(前年比)							
		<ol style="list-style-type: none"> 1. 自主防災組織連絡協議会開催・自主防災組織活動助成金制度による増 2. 災害時要援護者システム導入による増 3. 防災意識啓発セミナー・啓発資料の充実による増 					

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	05	都市基盤
取組の基本方針	01	市街地整備の推進

事業名	大麻地区住環境活性化事業
担当課	企画政策部企画課

目的と事業概要	郊外型住宅団地の高齢化、住宅の老朽化等の課題解決に向けて、内閣府補助事業である特定地域再生事業を活用し、住まい相談窓口の設置、アンケート調査、ワークショップ等による市場調査を行い、これらをもとに計画を作成し、平成26～27年度にかけて住みかえ相談窓口の運営等を実施する(3ヶ年計画事業)。平成28年度からは、まちづくり運営組織等により自律的に事業を運用していくことを目標とする。
前年度までの実施内容と効果	<p><平成24年度> 大麻・文京台のまちづくり協議会と連携し、空き家活用に関する国交省補助事業を活用して、住みかえアンケート調査、セミナー、相談会、PRパンフレット作成を実施した。</p> <p><平成25年度> 郊外型住宅団地の生活環境の維持・向上に関する内閣府補助事業である特定地域再生事業を活用し、住まい相談窓口の設置、アンケート調査、ワークショップ等に係る市場調査を行い、計画を作成する予定。</p>
H26年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 上記調査および計画策定に続き、以下の取り組みを実施することについて</p> <p>住みかえ支援等に向けた取り組み 講演会、ワークショップ、ニュースレター、住みかえ相談窓口の運営 (ニュースレターは対象地区全戸配布を予定)</p> <p>高齢者安心サポートの促進 企業等への参加呼び掛け、買い物支援、安否確認等の取組み実施</p> <p>まちづくり活動 拠点となるコミュニティ施設の検討、学生の参加等の呼び掛け</p>

(単位:万円)

予算状況	H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】	調査等委託料	343.1	438.1	95.0		
	会議等経費	1.7	9.6	9.6		
計	1.7	343.1	447.7	104.6		
財源内訳	国・道支出金		343.1	189.7	153.4	
	市債 その他 一般財源	1.7		258.0	258.0	
主な増減理由(前年比)						
・相談窓口実施期間の拡大(4ヶ月→12ヶ月)、ニュースレター配布数の増による事業費の増 ・内閣府補助事業の検査、報告会出席のための旅費の計上						

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	05	都市基盤
取組の基本方針	02	交通環境の充実

事業名	公共交通利用促進対策事業
担当課	企画政策部企画課

目的と事業概要	市民の利便性や交通機能の向上を図るため、バス路線の見直しに向けた実証運行のための調査を行う。バス利用に関する情報提供の改善を図ることにより公共交通の利用促進を図る。
前年度までの実施内容と効果	<p><平成24年度> 公共交通検討会議を設置し、公共交通の現状と課題、目指すべき方向性等について検討（4回開催）したほか、公共交通に関する市民アンケートを実施。会議においては、目的地に行きにくい、交通不便地域等の交通アクセスの問題、採算性の確保が課題との意見が出され、改善方策として、バスマップの表示の工夫、地域に合った小型のバス導入等の意見や利便性向上策として、ICカードや回数券の共通化等の意見が出されている。</p> <p><平成25年度> 引き続き公共交通検討会議を開催し、会議における議論及び公共交通に関する市民アンケート調査結果を踏まえ、利便性の向上等に向けた調査分析を行い、今後の方向性や改善案についてまとめる予定。</p>
H26年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 これまでの取組みに続き、以下の取組みを実施することについて</p> <p>交通体系見直しに係る調査 野幌駅の高架化に伴い市内道路網の再整備が進んでいることを踏まえ、バス路線等の公共交通体系の見直しに向けた調査を実施する。</p> <p>新バス路線実証運行の検討 公共交通体系の見直しを見据えた新たなバス路線にかかる実証運行(H27年度予定)について、路線や実施方法を専門家会議によって検討する。</p> <p>利用促進策の実施 利用促進に向けたパンフレットの作成、バス路線マップ等の情報提供の改善を図る。</p>

(単位:万円)

予算状況		H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】	交通調査委託料	225.8	200.0	318.6	118.6		
	バス路線マップ・パンフレット作成	13.1	15.8	99.4	83.6		
	公共交通検討会議運営経費	36.1	49.5		49.5		
	事業推進会議運営経費			22.5	22.5		
	計	275.0	265.3	440.5	175.2		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源	275.0	265.3	440.5	175.2		
主な増減理由(前年比)							
<ul style="list-style-type: none"> ・交通体系見直しのための調査委託料の増 ・利用促進のためのパンフレット作成に伴う委託料の増 							

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	06	子育て・教育
取組の基本方針	01	子育て環境の充実

事業名	あそびのひろば事業
担当課	保育課

目的と事業概要	子育て世帯を対象に、身近な場所で子どものあそび場はもとより、子育てに関する情報交換や保護者がリフレッシュできる場や機会を提供し、子育て支援体制の充実とともに地域に密着した子育て支援を図ることを目的に実施する。
前年度までの実施内容と効果	<p>子どものあそび場提供、子育てに関する情報交換や支援を行う子育てサロン等を市内12ヶ所で開設している。(各箇所月1回程度)</p> <p><対象事業></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てサロン事業 平成15年度～17年度に養成した「健やか子育てサポーター」の人材を活用し、地域の民生委員・児童委員等と連携しながら市内4ヶ所で開設(朝日町、見晴台、上江別、大麻西) 2. 地域子育てひろば事業 市立子育て支援センターすくすく(弥生町)からスタッフが出張し、親子で触れあう出前型事業「親子にここにひろば」を市内3ヶ所で開設(豊幌、新栄台、ゆめみ野) <関連するひろば> 3. 民間子育て支援センターによる地域子育てひろば事業 民間子育て支援センターにより市内3ヶ所で「親子にここにひろば」が開設されている。(東野幌、野幌、大麻) 4. 民生委員・児童委員によるサロン 地域の民生委員・児童委員の自主事業として2ヶ所開設されている。(いずみ野、東野幌)
H26年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 取組みの見直しおよび拡充を実施することについて</p> <p><見直し> 地域の民生委員や子育てサポーターが主体となっている「子育てサロン」と子育て支援センターすくすくが主体となり実施する「地域子育てひろば事業(親子にここにひろば)」を統合し、相互の連携や支援を強化する。</p> <p><拡充> 新たに文京台地区にひろばを開設し、地域出前型の取組みを全市的な地域に拡大する。</p>

(単位:万円)

予算状況		H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
財源内訳	[積算内訳]						
	非常勤職員報酬		201.3	208.1	6.8		
	一般報償費(講師謝金)		3.0	3.0			
	需用費(消耗品費、燃料代)	18.8	47.3	50.7	3.4		
	一般役務費等	0.8	4.8	0.9	3.9		
	一般使用料賃借料	1.0	1.0	1.0			
	投資関係備品購入費		2.0	27.2	25.2		
	計	20.6	259.4	290.9	31.5		
	国・道支出金						
	市債						
その他							
一般財源	20.6	259.4	290.9	31.5			
主な増減理由(前年比)							
文京台地区新設に係る経費(報酬、需用費)及び地域活動用車両購入費(年賦)の増							

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	06	子育て・教育
取組の基本方針	02	子どもの教育の充実

事業名	小中学校学習サポート事業
担当課	教育部学校教育支援室学校教育課

目的と事業概要	<p>地域にいる退職教員等ボランティアを活用し、小中学校においてチームティーチングや少人数制指導など、一人ひとりの理解度に応じたきめ細やかな指導による学習支援を行うことで、児童生徒の基礎力定着、学力向上を図る。</p>
前年度までの実施内容と効果	<p>平成21年度から小中学校の授業に退職教員等のボランティア講師を派遣し、チームティーチングなど、一人一人の理解度に応じたきめ細やかな指導を行うことで、基礎的・基本的な学力の定着に努めてきた。平成23年度から長期休業期間(夏期及び冬期)の補足的な学習サポートを開始し、ボランティア講師を派遣している。</p> <p>【現在の実施状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業等の学習サポート 各小・中学校において週3回 2. 長期休業期間中の学習サポート 各小・中学校において夏季・冬季それぞれ5回
H26年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】</p> <p>上記取り組みに加え、以下の取組みを実施することについて</p> <p>新たにボランティア講師を派遣し、中学校における放課後学習を実施する。 各中学校において週2回</p>

(単位:万円)

予算状況	H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
学校支援地域本部コーディネーター報酬	172.9	173.0	173.0			
ボランティア(教員免許あり)報酬	639.8	645.8	757.8	112.0		
学校支援地域本部会議出席旅費	0.6	0.9	0.9			
計	813.3	819.7	931.7	112.0		
財源内訳						
国・道支出金	116.4	117.0	117.0			
市債						
その他						
一般財源	696.9	702.7	814.7	112.0		
主な増減理由(前年比)						
中学校放課後学習サポート開始に伴うボランティア報酬の増						

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	07	生涯学習・文化
取組の基本方針	01	生涯学習の充実

事業名	(仮称)えべつ市民カレッジ(四大学連携生涯学習講座)事業
担当課	教育部生涯学習課

目的と事業概要	大学の知的資源を活用し、市民の様々な学習要求に応えるとともに、市民が問題意識と知識を獲得し、まちづくりに参画していくための学習の場とする。																				
前年度までの実施内容と効果	<p>・市内4大学関係者、受講者で組織する塾生の会幹事、教育委員会担当者からなる運営会議で、企画・運営を協議し、各大学と連携を図りながら各大学を会場とした講座事業(各大学2講座)を開催する。</p> <p>【平成25年度のふるさと江別塾講座一覧】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>実施大学</th> <th>実施日</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>江別市における児童生徒の体力向上に関する取組みについて 家庭でできる健康づくり・体力向上のための運動</td> <td>北翔大学</td> <td>10月19日</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>自然災害を知って防災に役立てよう ウイルス感染症について - ウィルスから身を守るには -</td> <td>酪農学園大学</td> <td>10月26日</td> <td>36名</td> </tr> <tr> <td>インテリジェンスの科学 - 「経験と勘」から「確率・統計」へ - 経営学で読み解く旭山動物園</td> <td>北海道情報大学</td> <td>11月2日</td> <td>36名</td> </tr> <tr> <td>「ポストモトラリアム」とひきこもりの若者たち 運動覚の体感</td> <td>札幌学院大学</td> <td>11月9日</td> <td>30名</td> </tr> </tbody> </table>	講座名	実施大学	実施日	参加者	江別市における児童生徒の体力向上に関する取組みについて 家庭でできる健康づくり・体力向上のための運動	北翔大学	10月19日	28名	自然災害を知って防災に役立てよう ウイルス感染症について - ウィルスから身を守るには -	酪農学園大学	10月26日	36名	インテリジェンスの科学 - 「経験と勘」から「確率・統計」へ - 経営学で読み解く旭山動物園	北海道情報大学	11月2日	36名	「ポストモトラリアム」とひきこもりの若者たち 運動覚の体感	札幌学院大学	11月9日	30名
講座名	実施大学	実施日	参加者																		
江別市における児童生徒の体力向上に関する取組みについて 家庭でできる健康づくり・体力向上のための運動	北翔大学	10月19日	28名																		
自然災害を知って防災に役立てよう ウイルス感染症について - ウィルスから身を守るには -	酪農学園大学	10月26日	36名																		
インテリジェンスの科学 - 「経験と勘」から「確率・統計」へ - 経営学で読み解く旭山動物園	北海道情報大学	11月2日	36名																		
「ポストモトラリアム」とひきこもりの若者たち 運動覚の体感	札幌学院大学	11月9日	30名																		
H26年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 取組みの見直しについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「ふるさと江別塾～まちおこし市民大学講座事業」をリニューアルし、「(仮称)えべつ市民カレッジ(四大学連携生涯学習講座)事業」へ名称変更する。 2. 従来ふるさと江別塾に加え、各大学で開催している市民公開講座と連携し、それらの講座をえべつ市民カレッジとして位置づけ、総合的に市民へ提供する。 3. 市民カレッジ対象講座について、大学自主講座も含めて市ホームページや広報等でPRする。 																				

(単位:万円)

予算状況		H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
積算内訳	一般報償費	12.2	13.7	15.3	1.6		
	消耗品費		0.6	0.6			
	印刷製本費	7.1	7.1	7.3	0.2		
	計	19.3	21.4	23.2	1.8		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源	19.3	21.4	23.2	1.8		
主な増減理由(前年比)							
えべつ市民カレッジ運営委員会の設置・開催に係る経費を増額							

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	08	協働
取組の基本方針	01	協働のまちづくりの推進

事業名	大学版「人材バンク」事業
担当課	企画政策部企画課

目的と事業概要	大学の得意分野を活かした地域の活性化を図るため、地域・企業と大学の交流につながる事業として、市内4大学の教員が地域や企業で出前講座を行う大学版「人材バンク」事業を新規に実施する。
前年度までの実施内容と効果	
H26年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 新規事業の開始について</p> <p><実施内容> 大学版出前講座を実施する。(市でも出前講座を実施しているため「大学版」とする。)</p> <p><実施方法> 市内4大学に対して、教員が地域や企業で出前講座ができるようメニューと教員を募集 市民への周知方法として、市民向けのパンフレットを作成、ホームページ・「広報えべつ」等でPR 平成26年度の上半期でメニュー表を作成し、10月以降に出前講座を開始する予定 出前講座の実施に当たっては、地域の自治会や企業から直接大学に申し込むことを基本とする。</p> <p><出前講座の内容> 大学と協議のうえ、各大学の特色を活かしたメニューとする。 札幌学院大学・・・経済、経営、法律など 北翔大学・・・福祉関係、スポーツによる健康増進など 酪農学園大学・・・環境、自然観察、ガーデニングなど 北海道情報大学・・・IT技術、食と健康など</p>

(単位:万円)

予算状況		H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
財源内訳	【積算内訳】						
	パンフレット印刷費			5.4	5.4		
	講座資料印刷費			5.4	5.4		
	計			10.8	10.8		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他 一般財源			10.8	10.8		
主な増減理由(前年比)		新規事業のため皆増					

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	09	計画推進
取組の基本方針	02	透明性と情報発信力の高い市政の推進

事業名	ウェルカム江別事業
担当課	企画政策部広報広聴課

目的と事業概要	<p>平成22年の国勢調査で初めて人口が減少に転じる等、江別市においても地域の活性化を図り、少子高齢化や人口減少という問題に取り組む必要がある。 江別市への誘客・定住促進に資するため、江別市の優位性や魅力をPRするパンフレット等及びホームページを作成する。</p>
前年度までの実施内容と効果	<p>人口増加策として江別の良さを市外にアピールし、市外からの定住者の増を目的として、子育て世帯をターゲットにしたパンフレット及びホームページを作成し、情報を発信してきた。 また、市外からの転入者及び訪問者に江別の良さを知らせてもらうきっかけとするため、市内の観光スポット等へ誘導できるような分かりやすいマップを作成、配布した。</p> <p>1. パンフレット 平成23年度・・・10,000部(札幌市内幼稚園・保育園に配布、札幌市各所・全国イベント会場等に設置) 平成24年度・・・3,000部(近郊住宅展示場・札幌市内各所・道内イベント会場等に設置) 平成25年度・・・3,000部(" ")</p> <p>2. ホームページ 平成23年度・・・ホームページ製作(以降、随時リニューアルしながら公開中)</p> <p>3. タウンマップ 平成23年度～25年度・・・年平均約5,000部配布</p>
H26年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 取組み内容の見直しについて</p> <p>事業開始から4年目を迎えるにあたり、パンフレットやホームページについて、より子育て世代に訴求するよう内容・デザインを刷新し、市外の人に江別の優位性を感じてもらえるような情報を発信していく。 子育て世代のアクセス数が多い専門サイトへのバナー広告掲載を引き続き行うほか、ホームページへの誘導を強化するため、検索サイトへのプロモーション広告を掲載する等、効果的なPRを展開する。 市の基本情報を伝える媒体として平成19年度に作成した市勢要覧について、市政施行60周年を迎えるにあたり内容をリニューアルし、増刷する。</p>

(単位:万円)

予算状況	H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
【積算内訳】						
パンフレット作成・配架委託料	28.4	45.8	134.6	88.8		
ホームページ作成委託料	39.3	9.5	34.0	24.5		
バナー広告料	18.9	37.8	38.9	1.1		
プロモーション広告等委託料			44.2	44.2		
タウンマップ印刷製本費	26.9	28.4	30.3	1.9		
市勢要覧作成委託料			74.9	74.9		
計	113.5	121.5	356.9	235.4		
財源内訳						
国・道支出金						
市債						
その他			100.0	100.0		
一般財源	113.5	121.5	256.9	135.4		
主な増減理由(前年比)	<p>パンフレット、ホームページのリニューアルに係る作成費及びホームページ閲覧者数を伸ばすためのプロモーション広告の掲載料の増 市勢要覧リニューアルに係る経費の増</p>					

平成26年度当初予算(案)パブリックコメント 事業説明書

政策	09	計画推進
取組の基本方針	03	男女共同参画による市政運営の推進

事業名	働きたい女性のための就職支援事業
担当課	企画政策部政策調整課

目的と事業概要	男女共同参画社会の推進のため、働きたい女性に対する就労の支援や、就労に向けた様々な相談機会の提供を図ることを目的に、子育てしながら就労を望んでいる女性と、女性の労働力を求めている地元企業とのマッチング、また、女性が働くうえで必要な相談窓口を設置したイベントを開催する。
前年度までの実施内容と効果	
H26年度の実施内容	<p>【意見募集にあたっての論点】 新規事業を開始することについて</p> <p>子育てしながらの就労を望んでいる女性と、女性の視点を取り入れたサービス向上や女性の労働力を求めている地元企業とのマッチングイベントを開催する。 イベントは、育児のためなかなか時間がとれない女性に気軽に参加してもらうことを念頭に、子ども連れで参加でき、企業と相互に情報交換が行える内容とする。また、保育サービス等の窓口や、交流の場を併せて設け、就労支援のみに止まらない、働きたい女性に向けたイベントとする。</p> <p><イベント内容> 地元企業と参加者の相談コーナー 託児サービスコーナー 保育相談窓口等の設置 パネルディスカッション等交流コーナー</p>

(単位:万円)

予算状況		H24決算	H25予算	H26要求	前年比	査定案	増減
	【積算内訳】						
	イベント開催委託料			84.3	84.3		
	会場使用料等			6.7	6.7		
	事務経費			4.0	4.0		
	計			95.0	95.0		
財源内訳	国・道支出金						
	市債						
	その他			30.0	30.0		
	一般財源			65.0	65.0		
主な増減理由(前年比)		新規事業のため皆増					